



みのり

寺井小学校 No.8
令和2年8月7日(金)
発行：校長室(坂下 和之)

一人ひとりが精いっぱい花を咲かせた1学期

今日で1学期が終わりました。4月学校がようやく始まり、これからという時に再び休校になりました。分散登校を経て、6月より学校が再開となりました。授業の遅れを取り戻すために、例年の夏休み期間も授業を行ってきました。保護者、地域の皆様には、これまで様々な対応にご理解、ご協力いただき本当にありがとうございました。西児童玄関には、1年生が毎日お世話しているアサガオの花がきれいに咲いています。よく見ると色や形、大きさ、咲く場所が違います。けれども、どの花もきれいな花を咲かせています。てらっ子の皆さんも、このアサガオの花のようにそれぞれ違いますが、精いっぱいがんばり美しい花を咲かせることができました。



さて、明日からは待ちに待った夏休みです。まだまだ、感染症拡大の心配はありますが、ご家族とゆっくりと過ごし、心身ともにリフレッシュして下さい。8月24日(月)に、てらっ子みんなの元気な顔をみれることを楽しみにしております。

ネオ スポーツ フェスティバル 9/17(木)

先日、能美市教育委員会よりお知らせがあった通り、本年度の運動会は中止となりました。そこで、少しでも子どもたちの思い出をつくるために「ネオ スポーツ フェスティバル」を行う予定です。運動会のように、全校が一度に集まることはできません。また、大きな声で歌うこともできません。保護者の皆様のご参観もご遠慮させていただきます。特に、6年生には最高学年として、フェスティバルを自分達の手でやり遂げたという達成感を味わわせてあげたいと考えております。感染症対策にも十分気をつけて、以下のように実施致します。ご理解の程、宜しくお願い致します。

ゆあて

感染症予防に対応した内容や方法で、体力向上に関心を持ち、自分で判断して行動したり、進んで運動に親しもうとしたりする。

日時 9月17日(木) 1限(前半 1~3年生の部) 2・3限(後半 4~6年生の部)

内容

【前半：1~3年生(6年)の部】

- ①6年生から挨拶(児童会・団長) 応援団からの拍子 (10分)
- ②1~3年 団競 【 1年：玉入れ 2年：大玉ころがし 3年：大玉運び 】
6年係活動 (出入り含めて10分) 計30分

- ③終わりの言葉(6年) 校長先生の話(5分)

【後半：4~6年生の部】

- ④団長からの挨拶 応援団からの拍子 (10分)
- ⑤4~6年 団競
【4年：台風の目 5年：バラエティー走 6年：全員リレー】
6年係活動 (出入り含めて10分) 計30分

6年表現運動(4~5年生が見る) 10分

- ⑥終わりの言葉(6年) 校長先生の話(5分)

感染症対策

- ・団長からの挨拶・応援団からの拍子は大きな声をださない。拍子のみ
- ・1~3年 4~6年に分かれて競技をする。運動場では間隔を十分に空けて座る
- ・6年表現運動では、旗をもち、旗の分の間をとって運動をする 接触技はしない
- ・学年の体育的種目は密にならない運動にする 1レースの人数を減らして行う
- ・大きな声での応援はしない(応援は手拍子 自分の席ではマスク着用)
- ・児童のみで実施する

6年生 防犯教室 7/20(月)

例年、1学期の終業式の日、全校対象に防犯教室を実施していますが、本年度は全校が一度に集まる事ができませんので、いざという時に下学年に危険を知らせる行動をとれるように、6年生を対象に防犯教室を実施しました。能美警察署生活安全課の水口様から不審者対応を教えてくださいました。

まず、「いかのおすし」を確認しました。

いか・・・知らない人についていかない の・・・知らない人の車に乗らない お・・・大声で叫ぶ「助けて！」 す・・・すぐ逃げる し・・・近くの大人(子ども110番の家)に知らせる

次に、不審者から逃げる方法を代表の人にやってもらい確認しました。

一つ目は、ランドセルを不審者につかまれた場合です。命を守ることが何よりも大切なので、ランドセルから手を抜いて、しゃがんで、「助けて」と叫びながら走って逃げる訓練をしました。

二つ目は、友達が不審者に連れていかれそうになったのを見た時は、「助けて」と叫ぶことで不審者が驚いている隙に友達と一緒に逃げる方法を行いました。6年生として下学年の人が不審者に連れていかれそうになった時には、このように声をかけて助けましょう。



危険を周りに知らせる行動

3年生 総合「民話」について学ぶ 7/20(月)

3年生は総合の時間に「能美市(寺井)の民話を知ろう」をテーマに調べています。自分達で調べる中で分からない言葉や疑問がたくさん出てきました。そこで、能美民話の会の先生方に事前に質問を送り、それについて、能美民話の会の会長太田先生と中先生に来ていただき、分かりやすく教えてくださいました。民話は昔から人々が口で語ってきたもので、その土地の願いや夢、子どもへの注意、教訓等が込められていることや、人々は自然を畏れてたくましく知恵を働かせて生きていたこと等を教えていただきました。地名や方言、架空の生き物などについても一つひとつ詳しく説明していただきました。最後に、民話を伝える時には、聞き手の伝わるように、ゆっくりとはっきりと聞こえる声で語り間や抑揚をつけるとよいことも教えていただきました。ありがとうございました。



民話について詳しく教えていただく

6年生 輝いて生きる③ 7/20(月)

今回は、能美消防本部 寺井消防署の北本遼平消防士様から、消防士の業務内容や消防士になったきっかけ、仕事をしてうれしかったことやつらかったことについて話していただきました。北本消防士さんが常に心がけていることは、「できなくてもあきらめずにやり続けること」だそうです。毎日の厳しい訓練を重ねて身につけて技術を現場で生かしたいという思いで取り組んでいることを伝えていただきました。子どもたちからは、「火事の現場で熱いのにがんばっていると思った。」「失敗してもあきらめないで挑戦したいと思った。」などの感想が出ました。寺井小学校の先輩が私たちの命を守るためにがんばっていることが伝わりました。ありがとうございました。



技術を現場に生かすために訓練に励む